

北沢さんが見守る中、ブラインドサッカーを体験する児童ら一本庄市立藤田小で



本庄市立藤田小学校で十八日、児童向けのブラインドサッカー教室があった。障がい者への配慮に子どもたちが気づくきっかけにしている。今年で三年目。

この日は、サッカー日本代表で日本障がい者サッカー連盟会長の北沢豪さん(金野)や、日本ブラインドサッカー協会のスタッフらの指導で、約八十人が参加。アイマスクを着用した児童らは、仲間が声を出したり、手をたたいたりなどしてサポートする

本庄の藤田小で北沢豪さんら教室

方向へボールを蹴る体験をした。

子どもたちが蹴る「ナイスキック」と声をかけた。その上で「障がいのある人に、どのようなサポートをすればよいか気づいたと思う。一歩踏み出すことで町が変わる。本庄市がすてきな町になるようがんばって」と呼びかけた。

参加した六年の佐藤衣哩さん(こ)は「最初は不安だったが、慣れてくると楽しくなってきた。障がいのある人には声をかけ、サポートしたい」と話した。

(北浜修)

22年度 総務省のふるさとづくり大賞

より良い地域づくりに貢献する個人や団体を表彰する総務省の「ふるさとづくり大賞」で、横瀬町が二〇二二年度の優秀賞に選ばれた。まちづくりの実証実験などに官民連携で取り組む事業(通称「よこらば」)の実践が評価された。

「よこらば」は、町内外の個人や企業などからプロジェクトを募集し、実現のため町がさまざまなサポートを行う仕組みで、二〇一六年十月から始動。これまで二百六件の提案があり、百二十五件が採択され、さまざまな地域活性化に貢献している。

富田能成町長は「よこらばが積み上げた実績は、町が掲げる『日本一チャレンジする町』『日本一チャレンジを応援する町』の象徴。賞を励みとして、さらにチャレンジを続けていく」とコメントした。表彰式は二月十日、東京都千代田区の都市センターホテルで。

(久間木聡)

ブラインドサッカーで学んだ「サポート力」

部活動を紹介

坂戸西高に地元の外語学院から招き留学生と親交深める

「嵐」は誰推し?

坂戸西高(坂戸市四日市場)は18日、市内の東亜国際外語学院で学ぶ留学生(3カ国、12人)を同校に招いて交流会を開いた。多文化共生を学ぶための初めての試みで、3年生の2クラス45人が地理の授業として参加。生徒たちは留学生の母国の環境や暮らしについて、地図帳を広げながら質疑を交わし、親交を深めた。交流会後、留学生たちは1年生の歴史の授業や授業後の清掃、部活動も見学した。(武藤康弘)

多文化共生 学ぶ初の試み

中国・重慶出身の女子留学生 応シンディさんは「故郷は火鍋で有名。(アイドルグループの)『嵐』のファンになったのをきっかけに日本への留学を決めた。今はパティシエを目指して頑張っている」と自己紹介。生徒の石崎珠宇さんが「『嵐」

タイの女子留学生と地図帳を広げる男子生徒
中国の女子留学生と記念写真を撮る女子生徒
いずれも坂戸西高で



の誰推し?」と問いかけて話題が膨らんだ。タイとベトナムの留学生は、母国の名所や料理などを画像で紹介。坂戸西高の生徒2人も、部活動や文化祭で撮りためた写真を公開して留学生の関心を集めた。

来日2年目のファム・クオク・バオさん(24)＝ベトナム＝は「日本の学校はきれい。生徒たちと話せて楽しかった」と振り返り、同半年の陳彦宇さん(23)＝中国＝は「私の高校時代は勉強一本だったので、部活動で交流できるのはうらやましく思った」と感想を話した。弓道部での活動を紹介した大杉遥さんは

「ベトナムの留学生から珍しい建造物の写真を見せてもらい、いつか訪ねてみたいと思った」と話した。

学院の担当者によると、学生たちはアルバイト先などでは年長の日本人と接することが多く、同世代とのコミュニケーションの機会が少ないのが課題になっていた。交流会は見学に訪れた坂戸西高の教諭との交流から実現し、学生からは「生活に疲れていたが、自分の高校時代を思い出し、元気を取り戻せた」などの声も上がった。両校ともに次年度以降も継続の希望があるという。



細谷さんは中央大を卒業し、二〇一五年から市議を務め、現在は二期目。「(行田市市内の)国道バイパス沿いの開発に着手したい。教育や、子育て家族が市内へ引っ越すような施策にも力を入れる」と述べた。

同市長選の出馬表明はともにも無所属で、再選を目指す現職の石井直彦市長(も)と、新人の石川隆美・前副市長(金)に続いて三人目。他にも出馬の可能性がある人が複数おり、混戦になりそうだ。(菅原洋)

横瀬町が優秀賞に

より良い地域づくりに貢献する個人や団体を表彰する総務省の「ふるさとづくり大賞」で、横瀬町が二〇二二年度の優秀賞に選ばれた。まちづくりの実証実験などに官民連携で取り組む事業(通称「よこらば」)の実践が評価された。

「よこらば」が評価

「よこらば」は、町内外の個人や企業などからプロジェクトを募集し、実現のため町がさまざまなサポートを行う仕組みで、二〇一六年十月から始動。これまで二百六件の提案があり、百二十五件が採択され、さまざまな地域活性化に貢献している。

富田能成町長は「よこらばが積み上げた実績は、町が掲げる『日本一チャレンジする町』『日本一チャレンジを応援する町』の象徴。賞を励みとして、さらにチャレンジを続けていく」とコメントした。表彰式は二月十日、東京都千代田区の都市センターホテルで。

(久間木聡)

川島町長に飯島さん3選



3選を
べる

川島町長選挙は、無投票開票され、飯島和夫さんが公明推薦で、県内外の書店、量販店、直売所をめぐり、買収と、増量やボ受けられるよう!キャ

県は、県と増量やボ受けられるよう!キャ

県内外の書店、量販店、直売所をめぐり、買収と、増量やボ受けられるよう!キャ

県内外の書店、量販店、直売所をめぐり、買収と、増量やボ受けられるよう!キャ

埼玉

全国主要新聞への折り込み 取り扱い

折込広告なら
朝日オリコミ
埼玉支社

048-657-1971
月～金 9:30～18:00
www.asaori.co.jp

県内の天気

さいたま 熊谷 秩父

きょうの予想 (さいたま)
降水確率 朝20% 昼20% 晩30%
気温 最高10度 最低0度
北西の風のちやや強く

さいたま支局
〒330-0063
さいたま市浦和区
高砂3-12-24
小峰ビル2F
電話 048-834-0300
FAX 048-834-0511
mail:saitama@tokyo-np.co.jp
通信局・部
熊谷 048-521-2724
越谷 048-989-7770
羽生 048-561-2523
川越 049-223-8814
秩父 0494-22-1596

新型 コロナ

27人死亡
1322人感染

県内で二十三日、新型コロナウイルスの新たな感染者千三百二十二人と、五十

行田市長選3人目
細谷市議が出馬へ
行田市の細谷美恵子市議(こ)は二十三日、統一地方選の同市長選(四月十六日告示、同二十三日投票)に無所属新人として立候補する意向を表明した。



3選を
べる

原発事故
エネ政策
浦和の
菅直人
二〇一一年
大震災と東京
原発事故の発
務めていた菅
写真が二十
会館(さいた
で開かれた原
会で講演し、
況を振り返り
危険性を訴え

死亡が発表され
たりの死者発表
超えるのは二十
新規感染者が
回るのは昨年十
以来。県は医療
など計四十八人
発生している
(感染者集団)
と発表した。

